

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 2024 年度事業計画書

自 2024 年 9 月 1 日 至 2025 年 8 月 31 日

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会は、口腔顔面痛学に関する研究の進展及びその臨床応用についての研究発表、知識の交換、会員の生涯学習の援助並びに会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより口腔顔面痛学の進歩普及を図り、我が国の学術の発展に寄与すると共に国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする（定款第 3 条）。

これらの遂行のために、2024 年度（2024/9/1～2025/8/31）に以下の事業を実施する。

1. 学術大会の開催（学術委員会 学術大会運営検討部会）

第 29 回学術大会

2024 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）の 3 日間、第 29 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会（大会長：福田謙一）を東京歯科大学水道橋校舎にて開催する。メインテーマは「脳機能から、痛みを考える！」で、多数のシンポジウム、リフレッシュャーコースや一般演題発表を予定する。

2. セミナーの開催（セミナー企画運営委員会）

1) 口腔顔面痛臨床推論実習セミナー

【会期】2024 年 9 月 8 日（日）

【会場】慶應義塾大学信濃町キャンパス

2) 口腔顔面痛治療実践セミナー

【会期】2024 年 10 月 6 日（日）

【会場】九州大学歯学研究院 研究棟 講義室 AB

3) Headache Academy for Dentists

【会期】未定

【開催形式】未定

4) 口腔顔面痛精神医学セミナー

【会期】2025 年 1 月 12 日 10 : 15～16 : 00

【会場】広島大学歯学部大講義室

5) 口腔顔面痛脳学習キャンプ

【会期】2025 年 8 月

【会場】松本歯科大学（予定）

6) ベーシックセミナー

【会期】2025 年 6～7 月頃

【会場】WEB または現地開催（場所は未定）

(神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムは6. 2) 参照)

3. 学会誌 (学会誌編集委員会)

第17巻を2024年12月に発刊する。締め切りは2024年9月30日とする。論文の投稿は随時受け付ける。

4. 専門資格

1) 口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の認定 (専門医等認定委員会)

- (1) 指導医、専門医、認定医更新申請に対する審査を行う。
- (2) 研修施設新規申請・更新申請に対する審査を行う。
- (3) 指導医、専門医、認定医試験を実施する。

2) 痛み専門医療者認定試験 (痛み専門医療者資格審査委員会)

- (1) いたみ専門医・専門医療者資格を本学会会員に広報し、受験者数の増加を図る。

News Letter での紹介、認定制度のご案内のプレゼンのホームページへの掲載を検討する。

- (2) いたみ専門医・専門医療者の試験資格審査を行う。

5. 研究の奨励および表彰

1) 研究の奨励 (学会誌編集委員会 優秀論文賞選考部会)

日本口腔顔面痛学会誌 (16巻1号) に掲載された論文の中から、優秀論文を一編選出する。優秀論文の筆頭著者に対し、日本口腔顔面痛学会総会・学術大会にて記念品と楯を贈呈する。ただし、当該年度に優秀と認められる論文が見当たらない場合は、選出しない場合もある。

2) 優秀ポスター賞 (学術委員会 ポスター賞推薦小委員会)

第29回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会において優秀ポスター賞を選定する。

ポスター賞選定前に内規作成する (検討内容; 受賞対象者の定義、大会長発表や学会主導研究発表の取り扱い、年齢制限の有無等)。

3) 学会特別功労賞 (学会特別功労賞、名誉会員推薦委員会)

定年・退職をされ、本学会に対し貢献が認められ功労賞を受賞するにふさわしい学会員を推戴する。

4) その他

6. 国内交流事業

1) 国内疼痛系学会との交流 (理事長)

痛みに関する課題の共有と方策について協議する目的で、日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本腰痛学会と設立した「日本痛み関連学会連合」を通じて、国内の疼痛団体と交流する。

2) 神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウム (セミナー企画運営委員会)

神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウムを開催する。

【会期】2025年3月9日(日)

【開催形式】当日 Web 配信＋後日オンデマンド

日本口腔外科学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療法学会、口腔顔面神経機能学会、日本歯科心身医学会と共催予定

3) 国内渉外委員会

(1) 厚生労働省研究事業への参画（厚労部会）

厚労部会は「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究」への参画として

- ①日本いたみ財団が運営する Web サイト上にアップされるセミナー情報を会員向けに広報する
- ②委員は各地で開催されるセミナーに参加し、主催者と交流をはかる
- ③同セミナー内で口腔顔面痛領域の講演枠をつくってもらえるように促していく

(2) 地域部会は歯科医師会や市民を対象とした講演の仕事を請け負う仲介をする

4) その他（理事長）

本学会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医歯学・医療関係団体との協力、協議を行う。

7. 国際渉外委員会

1) 国際交流事業

(1) 国際疼痛学会（International Association for the study of Pain: IASP）および Special Interest Group of Orofacial Pain (SIG of OFP)との交流。

(2) アメリカ口腔顔面痛学会（American Academy of Orofacial Pain: AAOP）との交流。

(3) アジア口腔顔面痛学会（Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders: AAOT）との交流。

(4) 国際歯科研究学会（International Association for Dental Research）の神経科学グループ（Neuroscience Group）および International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology (INFORM)との交流。

(5) その他

2) 国際学会発表支援事業

(1) 英語プレゼンテーションメンター制度

8. 歯科医療の向上のための事業

1) 診療ガイドライン（ガイドライン作成委員会）

(1) 「口腔顔面痛治療ガイドライン」または「特発性口腔顔面痛の診療ガイドライン」の作成。

(2) 特発性口腔顔面痛（PIDAP）の診療に関する scoping review の作成。

2) 口腔顔面痛教育シラバス（学術委員会 シラバス、用語検討部会）

(1) シラバス委員会が所掌すべき審議事項が生じた場合、理事会の要請により委員会を招集する。

(2) 日本痛み関連学会連合用語委員会からの（用語の邦訳といった）要請があった場合、委員長が委員会を招集し審議する。また、審議内容は理事会に報告する。

3) 社会保険（医療保険委員会）

令和 6 年度診療報酬改定①②に向けての調査、準備を行う。

- (1) 医療保険関連事業：報告書作成時『口腔外科領域の周術期疼痛に対する三叉神経ブロック』の英文作成
- (2) 医療保険関連事業：報告書作成時『末梢神経障害性疼痛の診断基準』の英文作成
*JDSF-DSP2-2016-221-2 は平成 28 年度事業分
- (3) 厚労省「ICT を活用した医科歯科連携等の検証事業」
＜第 1 回＞2024 年 10 月 7 日（月）10:00-11:30（終了）
＜第 2 回＞2024 年 11 月 20 日（水）13:00-14:30
＜第 3 回＞2025 年 1 月 30 日（木）10:00-12:00
- 4) 医療問題関連の活動（理事長）
種々の医療問題に関する見解の取りまとめと解決を行う。
- 5) ICT の導入
ICT 活用推進委員会
 - (1) アプリのアップデート
 - (2) 専門医・会員情報の管理
 - (3) Virtual Patients の充実を図る。E-Learning を進める。
 - (4) 学術大会、セミナー準備
- 6) 精密触覚機能検査研修事業（精密触覚機能検査研修委員会）
精密触覚機能検査研修協議会と協議の上、研修を全国の 7 箇所で計画する。
現在、開催が予定されている研修会は以下となる。
 - ①2024 年度第 10 回 関東地区 東京歯科大学（第 29 回日本口腔顔面痛学会会期中の開催を予定） 2024 年 12 月 1 日
 - ②2024 年度第 12 回 四国地区 徳島大学 2025 年 1 月 26 日
 - ③2024 年度第 13 回 関西地区 大阪歯科大学附属病院 2025 年 2 月 15 日
→第 14 回研修会（3 月 2 日、大阪大学歯学部弓倉記念ホール）と合同開催することに変更になった（2 月 15 日の研修会は中止）。
 - ④2024 年度第 15 回 中部地区 2025 年 3 月 16 日
- 7) 日本歯科専門医機構認定専門医制度（歯科専門医機構関連制度検討委員会）
日本歯科専門医機構における専門医についての情報を専門医等認定委員会と共有し、学術大会時の歯科専門医共通研修の立案や、新たな機構認証歯科専門医のありかたを検討する。
- 8) 日本歯科医学会プロジェクト研究
 - ・令和 4 年度日本歯科医学会研究費研究題名「口腔顔面痛診断補助ツールアプリケーションの開発とその臨床応用上での法的な整理」の実施（日本歯科医学会プロジェクト研究 2022-B-5）。
 - ・承認予算 700 万円（令和 4 年 260 万円、令和 5 年 440 万円）
 - ・メンバー：研究代表者：松香芳三
研究分担者：臼田 頌、村岡 渡、小見山道、佐々木啓一、西須大徳、野間 昇、島田明子
 - ・アプリケーションの開発と法的な問題点の抽出を行い、報告書を提出予定。

9) 日本頭痛学会/ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成

- ・ 医学教育プロジェクトへの助成グラント「片頭痛領域における医療の質を向上するための取り組み」に対して「歯科に来院する未治療片頭痛患者に対する頭痛専門医紹介システムの構築」の公募申請を行い、現在、一次審査が通過し、二次審査書類を提出している。今後、正式に採択されれば、当学会と日本頭痛学会との連携構築のためのプロジェクトが始動する予定。
- ・ メンバー：井川雅子（プロジェクトリーダー）、村岡 渡、大久保昌和、小見山 道、松香芳三、池田浩子、渡邊友希、大塚友乃、工藤葉子、佐々木啓一

10) その他

9. 広報事業（広報委員会）

- 1) ホームページ保守・更新
- 2) ポスター2025 作成
- 3) ニュースレター発行
- 4) セミナー委員会広報の支援
- 5) 非歯原性歯痛を中心に口腔顔面痛の国民・医療関係者への広報
- 6) セミナー掲示板作成

10. コンプライアンス・ガバナンス

1) コンプライアンス順守（倫理委員会）

本学会が広くステークホルダー（患者、医療従事者、研究者、会員および社会）に貢献すべき重大な責務を負っていることを認識し、コンプライアンス順守活動を積極的に行う。

2) 会員の倫理向上（倫理・利益相反委員会）

倫理委員会が所掌すべき審議事項が生じた場合、理事会の要請により委員会を招集する。

3) 会員の利益相反（倫理・利益相反委員会）

①役員（理事、理事長、監事）、学術大会大会長、各種委員会委員に利益相反自己申告書についての提出を促す。

②学会発表、学会誌の論文について、適切な利益相反申告が行われているかを監視する。

4) 個人情報の管理（理事長）

学会の収集した個人情報を適切に取り扱う活動を行う。

5) 規定の整備・新規作成（規程検討委員会）

必要に応じて、各委員会から提案された各種規程の整備、および新規作成を行う。

6) その他

11. 会議の開催（総務担当理事）

【2024年11月5日（火）】

20:00～21:00： 2024年度 第1回定時理事会（WEB）

【2024年11月29日（金）】

17:00～18:45： 2024 年度第 1 回臨時理事会 現地開催

19:00～20:00： 2024 年度第 1 回定時評議員会（定時社員総会） 現地開催

会場は、学術大会会場である東京歯科大学

2024 年 8 月頃に第 2 回定時理事会を行う。

また、必要に応じて臨時理事会、電子会議（インターネット理事会）、臨時社員総会を行う。また、数か月に一度の頻度で理事協議会を開催する。

その他、他委員会に該当しない業務全般を行う。

1 2．社員選挙及び理事選挙の開催（選挙管理委員会）

評議員選挙を行い、2025 年 7 月末をめどに当選者（評議員）を確定する。

理事選挙を行い、2025 年 10 月初旬をめどに当選者（選挙理事）を確定する。

1 3．本学会の社会的地位向上のための活動（理事長）

1 4．その他

目的達成のために必要と認められる事業を行う。

以上